

- Kenzeichnung der Spröbruchneigung von Stählen durch Messung der Fließspannung, Reißspannung und Brucheinschnürung an dreiachsrig beanspruchten Proben. *Albert Kochendörfer und Kristof Rohrbach*. S. 213.
- Spannungs- und Verzerrungszustand an der Grenzfläche Zweier Kristalle. *Hermann Möller und Friedhelm Brasse*. S. 231
- 26 (1955) Heft 5 Mai
- Modellversuche über die Umlenkung der Strömung im Kopf von Siemens-Martin-Kaltgasöfen *Michael Hansen*. S. 243.
- Zur thermodynamischen Analyse. II. *Willy Oelsen, Karl Heinz Rieskamp und Olaf Oelsen*. S. 253.
- Optische Verfahren Zur Bestimmung von Spuren-elementen durch Anreicherung. *Hermann Specker*. 267.
- Nephelometrische Kupfer-Schnellbestimmung. *Wilhelm Denck und Karl Mahr*. S. 271.
- Zum gegenwärtigen Stande der Spannungsmessung mit Röntgenstrahlen. *Viktor Hank*. S. 275.
- Untersuchung der Alterungsneigung von weichen unlegierten Stählen durch Prüfung der Härte bei Temperaturen bis 300°. *Eduard Haudremont, Wolfgana Wepner und Hans-Joachim Wiester*. S. 279.
- Mikroskopischer Nachweis von Karbidausscheidungen aus übersättigtem  $\alpha$ -Eisen. *Hugo Josef Seemann und Ursula Hintzpeter*. S. 287.
- Einfluß elastischer Beanspruchungen auf die Martensitbildung. *Albert Kochendörfer und Hans-Günter Müller*. S. 291.
- Atomistische Betrachtungen über den Einfluß von Zusatzelementen auf den Polymorphismus des Eisens. *Konrad Schubert*. S. 299.

### 国内最近刊行誌参考目次

#### —学協会誌—

- 日本金属学会誌 19 (1955) 8
- 結晶学的観点と物理冶金学の進歩. 西山善次…MI—M 12.
- 振り加工を施した螺旋ばねの研究 (I) 基礎的諸現象 三戸 暁…pp. 453~456.
- 振り加工を施した螺旋ばねの研究 (II) 振り効果に対する一般的考察. 三戸 暁…pp. 456~460.
- 常温塑性加工せる金属の焼鈍による変形 (V) 共析鋼棒の組織の影響について. 関口春次郎外… pp. 490~497.
- 常温塑性加工せる金属の焼鈍による変形 (VI) 引張後圧縮加工せる共析鋼棒の焼鈍による変形について. 関口春次郎外…pp. 498~501.

#### 日本会属学会誌 19 (1955) 9. (本誌 11月号参照)

#### — 19 (1955) 10

- 鋼線の硬度と抗張力との関係. 西岡多三郎…pp. 571~574.
- 衝撃押出法の研究 (IX) 軟鋼の冷間後方衝撃押出について. 五弓勇雄外…pp. 575~577.
- アルミナイズド鋼の基礎的研究 (I). 森永卓一外…pp. 578~581.
- 合金の電気化学的性質に関する研究 (VII) Fe-Cr, Fe-Ni および Fe-Co-Ni 合金の陽極的挙動におよぼす Mo の影響. 森岡 進外…pp. 598~600.
- 加熱および冷却による炭素鋼棒の変形について (I) 関口春次郎外…pp. 605~608.
- 加熱および冷却による炭素鋼棒の変形について (II) 丸棒試片の寸法の影響. 関口春次郎外…pp. 608~612.
- ベイナイト変態の高温顕微鏡による観察. 津谷和男…pp. 612~616.
- 鑄物 27 (1955) 10
- 鑄鉄の溶解条件と鑄巣との関係 (V) 酸化溶解と引け巣 (一部補遺) 加山延太郎外…pp. 673~680.
- Jungbluth. の曲線に関係する一考察. 野間 孝…pp. 681~687.
- 鑄鋼生型の溶着におよぼす作用因子並びにその防止について. 杉山鉄夫外…pp. 693~701.
- 窯業協会誌 63 (1955) 716.
- クロマグ煉瓦の化学的侵蝕機構に関する研究 [平炉に使用された耐火物に関する研究 (III)] 青 武雄外…pp. 629~633.
- 造船協会論文集 88 (昭和 30 年 9 月)
- 溶接棒の使用性能について. 増淵興一…pp. 201~211
- 防蝕技術 4 (1955) 5
- 酸蝕抑制剤の効果判定における電気伝導度測定の実用 永井一夫…pp. 31~33.
- 金属物理 1 (1955) 5
- 欧米におけるマルテンサイト変態機構に関する研究状況. 西山善次…pp. 177~187.
- 熱管理資料 Oct. 1955
- 鋼塊加熱炉の廃熱ボイラについて. 大塚武彦外…pp. 1~4.
- 廃ガスの利用と余熱汽罐. 蔭山杉一…pp. 5~12.
- 工業窯炉における輻射伝熱. 設楽正雄…pp. 15~29.

#### 電気製鋼

- 最近における製鋼用電気炉の進歩 (I) 林 達夫…pp. 205~213.
- 鋼の電子顕微鏡組織用腐蝕液の研究 (I) 江口 勇外…pp. 214~223.

#### —研究機関—

- 東北大学研究所報告 7 (1955) 5
- Heat-Treatment of Forged Roll Steel. Y. Imai and S. Ohara. pp. 469~481.
- On the Activities of Si and C in Molten Fe-Si-C Alloys. M. Otani. pp. 487~501.

鉄道業務研究資料 12 (1955)

漸増応力疲れ試験法による金属の疲れ寿命. 榎本信助  
pp. 3~10.

— 会社刊行誌 —

富士製鉄技報 研究特集号 (1955)

硫酸滓の脱銅に関する研究. 高橋愛和外 pp. 26~33  
室蘭製鉄所高炉装入物に関する研究. 太田満喜雄外  
pp. 34~47.

高砒素褐鉄鉱の焼結並びにその化学的処理について.  
富永在寛. pp. 48~58.

木炭銑と高炉銑. 鳥取友治郎 pp. 59~68.

冷延薄板の諸問題について.

冷延薄板の焼鈍について. 高橋 久外 pp. 69~73.

軟鋼の歪時効について. 吉田正人外 pp. 73~79.

薄板の深絞り性について. 赤松泰輔外 pp. 79~82.

中満庵軌条製作について. 長崎博外 pp. 83~98.

室蘭硬鋼線材について. 田島喜久雄 pp. 99~107.

本邦炭の構造研究. 新村唯治 pp. 108~127.

日立評論 16 (1955) 11

ガスタービン用 Ni-Cr 系 (20~15%) 耐熱鋼の諸性質  
におよぼす Nb, V, Ti および N<sub>2</sub> の影響.  
小柴定雄外 pp. 1~5.

耐熱鋼 "Timken's 16-25-6" 熔接部の機械的性質と  
熔着鋼の組織との関係. 小川浩三外 pp. 7~15.

冷間ダイス用高炭素—クロムモリブデン—バナジウム  
鋼の (SLD) 磁性試験. 小柴定雄外 pp. 17~20.

低合金鋼の焼入性について. 根本 正 pp. 21~26.

砂鉄系原料鉄の配合率を異にする 3 種の刃物鋼の比較

について. 小柴定雄外 pp. 27~32.

軸受鋼の焼入性におよぼす球状化セメンタイトの粒度  
の影響. 渡辺準平外 pp. 33~39.

鑄鋼の導磁性について. 牧野迪夫外 pp. 41~48.

白銑材質管理についての一考察—キューポラスラッグ中  
の FeO の影響について—小山代三郎外 pp. 49~  
54.

黒心可鍛鑄鉄の高温特性および耐蝕特性について. 藤  
井恒弥 pp. 55~62.

高力マレブルの研究. 塩谷勝喜外. pp. 63~76.

ダクタイル鑄鉄の 1, 2 の性質について—キアピテー  
ション・エロージョン試験—磨耗およびピッチング  
限界応力. 西山太喜夫外 pp. 77~87.

鑄鉄の繰返し衝撃荷重に対す強さについて. 河原英磨  
外 pp. 89~66.

Fixed Type Cavitation による金属の損傷. 藤間孝  
義外 pp. 123~133.

— 37 (1955) 11

デステリング装置. 木暮武三郎外 pp. 25~35.

鍛錬による内部変形に関する基礎実験. 武市彦四郎  
pp. 85~94.

鋼中のガス含有量におよぼす各種脱酸剤の影響. 菊田  
光男外 pp. 95~101.

日立造船技報 16 (1955) 4

浸炭材料の熱伝導について. 宮川正美 pp. 12~14.

はた焼鋼に対する中間焼なましの効果. 生田義夫  
pp. 15~21.

材質、作業能率の飛躍的向上に……

ニイガタのミーンハナイトメタル



種 一般機械用(Gタイプ) 耐蝕用(Cタイプ)  
耐熱用(Hタイプ) 粒状黒鉛(GSタイプ)  
類 耐磨耗用(Wタイプ)

特 長 a. 強度、靱性及び剛性が特に高い  
b. 耐磨耗性振動吸収能及び切欠抵抗性が大きい  
c. 鑄造後の変形、経年変形が少い  
d. 機械加工性が良好で、精密仕上が可能

株式  
会社

新潟鐵工所

ミーンハナイトメタル  
製造工場



新潟製鋼工場 電話(2)6121~8  
(新潟支社内)

浦田鑄造工場 電話(73)2131

本社 東京都千代田区九段1-6 電話(33)8391・8491  
支社 大阪・新潟 営業所 名古屋・札幌・下関